

図書館だより



2025. 7. 14

発行：磐城高校図書館



☆ 夏休み中の開館日のお知らせ ☆

月	火	水	木	金
21 海の日	22	23	24	25
28	29	30	31	8/1
4	5	6	7	8
11 山の日	12	13 開庁日	14 開庁日	15 開庁日
18	19	20	21	22
25	26※ 12:00～			

: 図書館お休み

開館時間

8:00～16:30

※の日は開館時間が上記と異なります。



図書館にも冷房がついているので、読書や調べ物、自習に活用してください！

夏休み向け長期貸出実施中

冊数：無制限（休み中に読める分だけ何冊でも可）

返却日：8/27（水）

夏休み中でも開館日は貸出・返却ができます。休み前に借りそびれた人もどうぞご利用ください。

推薦対策に興味のある人は、小論文コーナーを参考に！ 小論文頻出図書や書き方の本を集めてあります。

！第10回磐城高校ビブリオバトル校内大会 結果発表！

6月30日（月）放課後に図書館で、ビブリオバトルを開催しました。

参加生徒は8名。それぞれが、人におすすめしたいお気に入りの1冊を手に、3分間のプレゼンをやりきってくれました。

8名の発表後、その場で投票を行い、栄えあるチャンプ本に選ばれたのは、**藤内月葉さんが紹介した『オーデュボンの祈り』**でした！

準チャンプ本は、鈴木伸彦さん紹介の『ツナグ』、遠藤智子さんの『プラチナデータ』が同票でした。

今回のビブリオバトルで紹介された8冊は以下のとおりです。（発表順）

すべて図書館で借りることができます。7月の間、カウンター前の机で展示をしています。ぜひ手に取ってみてください。

	紹介本	発表者（敬称略）
1	『獄門島』（横溝正史）	斉藤海弥
2	『N』（道尾秀介）	荒川果凜
3	『スマホ脳』（アンデシュ・ハンセン）	井田湊
4	『ツナグ』（辻村深月）	鈴木伸彦
5	『プラチナデータ』（東野圭吾）	遠藤智子
6	『少女地獄』（夢野久作）	藁谷葵
7	『夏への扉』（ロバート・A・ハインライン）	鈴木泰耀
8	『オーデュボンの祈り』（伊坂幸太郎）	藤内月葉

新着図書リストと図書委員のおすすめ本は裏面→



新着図書リスト（2025.6月までの購入分）

☆：リクエスト購入図書 図書館入口すぐの新着図書コーナーにあります。

請求記号	書 名	著 者
092-N	シリーズ藩物語 磐城平藩	夏井芳徳
102-I	世界哲学史 全8巻+別巻セット ちくま新書 ☆	伊藤邦武 ほか
146-F	実践アニメ療法 臨床で役立つ物語の処方箋	バントー・フランチェスコ ／著
202-W	埴輪 研究法と解釈法 考古調査ハンドブック 22 ☆	若松良一
210.3-H	埴輪ガイドブック 埴輪の世界 ☆	橋本博文
210.3-W	埴輪 古代の証言者たち 角川ソフィア文庫 ☆	若狭徹
332-K	日本経済の死角 収奪的システムを解き明かす ちくま新書	河野龍太郎／著
468-S	寄生虫を守りたい	佐々木瑞希／著
810-I	日本語どんぶらこ ことばは変わるよどこまでも	飯間浩明／文 金井真紀／絵

以降、文学 請求記号ではなく、ジャンルを記載

ミス テリ	YABUNONAKA-ヤブノナカ-	金原ひとみ
	リストランテ・ヴァンピーリ	仁礼樹
恋愛	裸足でかけてくおかしな妻さん	吉川トリコ
青春	みしらぬ国戦争 ☆	三崎亜紀
	それいけ！ 平安部	宮島未奈
	恋の収穫期	最果タヒ
SF	世界99 上	村田沙耶香／著
	世界99 下	村田沙耶香／著
ホラー ・ ファン タジー	馬鹿化かし	藍銅ツバメ／著
	ファンム・アレース 1 講談社文庫 ☆	香月日輪
	〈本の姫〉は謳う 1 ☆	多崎礼／著
海外 小説	フォース・ウィング 第四騎竜団の戦姫 上	レベッカ・ヤロス／著 原島文世／訳
	フォース・ウィング 第四騎竜団の戦姫 下	レベッカ・ヤロス／著 原島文世／訳

図書委員のおすすめ本 テーマは【夏】
紹介本はすべて図書館にあります。

『四畳半タイムマシンブルース』 森見登美彦／著 KADOKAWA 913-M

まず、この作者に「夏の京都の大学生」を書かせたら右に出る者はいません！ 最高にアホらしくて、少しの非日常感を楽しみたい人は必見の一冊です。舞台は真夏の京都。殺人的な暑さの中、クーラーのリモコンが壊れてしまった主人公は、なんやかんやあってタイムマシーンを手に入れます。「クーラーのリモコンが壊れていない昨日に戻って、そのリモコンをとってくればいい」という考えに至った主人公は、サークルの後輩と結託し、悪友どもを昨日へ送り込むことに成功します。しかし、聡明な者達は気づくのです。タイムマシンを使ってクーラーのリモコンを取り戻すと大きな矛盾が生じる。そしてこの矛盾に耐え切れないこの世界は、消滅する！？ 果たして主人公は、悪友どもの暴走を止め、世界を消滅の危機から救うことはできるのか？ そして、密かな恋の結末やいかに！？ 京都の大学生とその仲間がくり広げるドタバタ青春コメディ、この機会にぜひ、ぜひご覧いただきたい！！（N.Y.）

『老人と海』 アーネスト・ヘミングウェイ／著 小川高義／訳 光文社
光文社古典新約文庫 933-H

この本は、八十四日間不漁続きだった老人の漁師が自分を慕っている少年に見送られ、ひとり小舟で海へ漁に出る話です。すると、とても巨大なカジキが釣網にかかり、老人はそのカジキと死闘を繰り広げます。その後に老人を待ち受けるものとは……。

この本は著者にピューリッツア賞とノーベル文学賞をもたらした有名な作品で、すでに読んだ人もいるのではないのでしょうか。ここで、この本のおすすめポイントについて3つ紹介します。1つ目は、少年です。少年は老人のことを心の底から尊敬していて、老人もまた少年のことを信頼していることが分かります。この老人と少年の関係に見どころがあります。2つ目は、読み終わった後に感じることです。とても大切なことに気づかされます。これはぜひ実際に読んで感じてほしいです。3つ目は、この本がとても読みやすいという点です。ぜひ手に取って読んでみてください。（M.M）